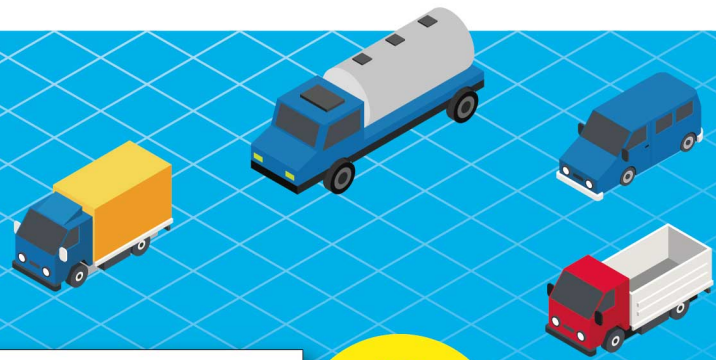


# DA-クリーニング

Diesel Ash Cleaning



高品質・低価格でのDPFメンテナンスを実現します。

DA-クリーニングとは、  
特許取得のディーゼル車マフラーの洗浄システム。

お客様各位

件名 2021年 4月1日  
株式会社 株式会社 株式会社

**Sample**  
DPF洗浄検査報告書

下記の通りDPF洗浄が完了いたしましたのでご報告いたします。

機体番号	型式	車種	製造年
DPF型式	DPF容量	DPF材質	DPF容量
DPF型式	DPF容量	DPF材質	DPF容量
DPF型式	DPF容量	DPF材質	DPF容量

1. DPF洗浄前後結果

DPF洗浄前マフラーの風量、圧力、温度、DPF内のすす、DPF内のすす成分を測定し、洗浄後の風量、圧力、温度、DPF内のすす、DPF内のすす成分を測定し、洗浄前後の差を算出します。

項目	洗浄前	洗浄後	差
風量	1.200L/分	1.920L/分	0.720L/分
圧力	0.3	0.5	0.2
温度	1.0	1.5	0.5
DPF内のすす	4.000g	1.000g	3.000g

2. 洗浄前後の風量、圧力、温度の比較

3. 洗浄前後のDPF内のすす成分の比較

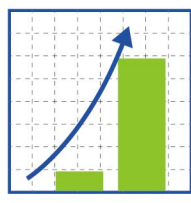
4. 洗浄前後のDPF内のすす成分の比較

5. 洗浄前後のDPF内のすす成分の比較

他のクリーニングとは  
ここが  
違います

## 改善幅が 数値で見える 実測レポート 付き

洗浄後、実測レポートを添付。  
改善点を見える化してお渡します。



**回復率 80%を実現**

洗浄前と洗浄後の風量圧力検査を実施。新品マフラーの80%以上の回復率を証明しています。



**フィルターを傷めない  
特殊洗浄剤を使用**

船舶のディーゼルエンジンのメンテナンスで長年の実績を元に開発された洗浄剤を使用。汚れに応じた洗浄を行います。



**環境基準をクリアした  
廃液処理**

洗浄後の排水は、環境基準値をクリア。沈殿物は産業廃棄物として適正に処理されています。



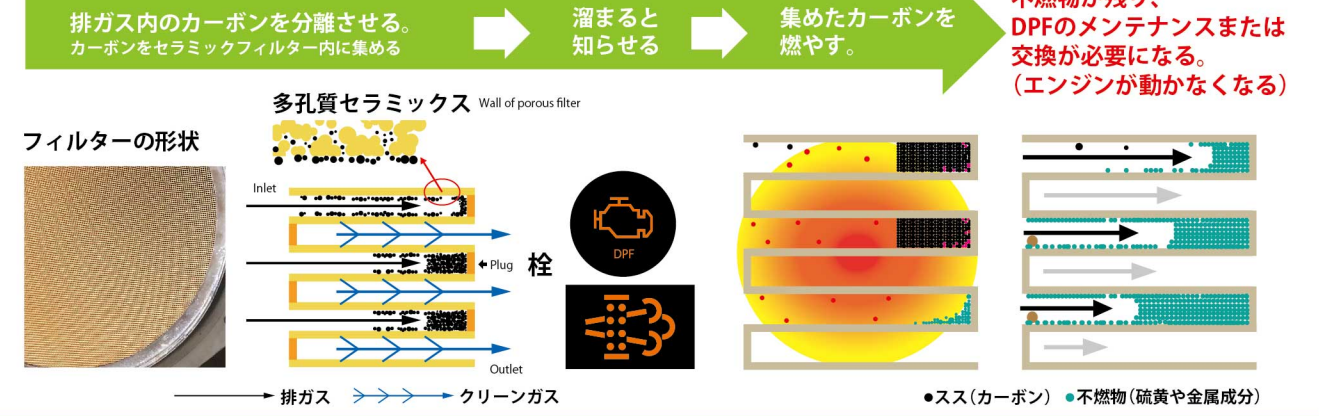
## DPFの仕組みとメカニズムを知ろう。

パワーと燃焼効率にはガソリンより優れてるディーゼルエンジン。しかし排気ガスには様々な有害物質の発生が伴います。特に健康被害を及ぼすススを中心とする粒子状物質(PM)は除去が不可欠です。DPFは、ススを集め、燃やす専用の装置です。ススは燃焼させることが可能ですが、排気ガスやエンジンオイルに含まれる金属酸化物は不燃物のため、DPFのセラミックフィルターの壁面に付着し、詰まってしまいます。



知っておくと  
安心です。

### DPFの基本的な仕組みと詰まるメカニズム。



## DA-クリーニングの洗浄システム

特許取得



DPF内のフィルターの目詰まりを  
専用の設備と手法により徹底クリーニング。  
高品質リビルド部品として再生します。

洗浄方法、洗浄装置、洗浄効果の測定方法など、装置と洗浄手法が一体となった特許取得のシステムだからこそできる洗浄です。

### 基本的な作業内容の流れ

- 1 本格洗浄前の確認**

洗浄前

大型ブロワーにより、3~4段階の風量で洗浄前のDPF通風の風圧を計測。さらに汚れや劣化度合いを確認します。

大型ブロワー

圧力計
- 2 洗浄中のイメージ**

DPFマフラー

洗浄液

加温

ポンプ

フィルター

灰が押し出される様子

DPF内に貯まった不燃物の灰が水流圧で押し出された様子。

加温した洗浄液をDPF内の送り込み洗浄を実施。バブル洗浄なども組み合わせフィルター内部を洗浄します。
- 3 洗浄後の確認**

洗浄後

圧力計

洗浄後、風圧の計測を実施。新品DPFマフラーや2,500本を超える洗浄データ実績を元にした実測レポートを添付します。

初期差圧の計測 → DPFの状態の確認 → フィルターの実施 → 繰り返し実施 → 洗浄後差圧の計測

回復率 80%以上